

特別活動 学級活動(1)で目指す資質・能力を育むための指導のポイント

学級活動において育成を目指す資質・能力は、①問題の発見・確認、②解決方法等の話し合い、③解決方法の決定、④決めたことの実践、⑤振り返りといった学習過程の中で育まれます。学級活動(1)では、こうした学習過程において、児童生徒が自発的、自治的な学級や学校の生活づくりを実感できるような一連の活動を意識して指導に当たることが大切です。

指導例 中学校第2学年 学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

<議題> 「最高の合唱にするための作戦を考えよう」

<本時のねらい> 「最高の合唱にするための作戦」について、互いの考えのよさを生かしながらかし合い、合意形成を図ることができる。

事前の活動①における指導のポイント

◇校内合唱コンクールに向けた生徒の思いや願いを、生活ノートや事前アンケート等から拾い上げ、教師の指導の下で計画委員会を中心に議題を選定したり、決定したりできるようにします。

議題が決定されるまでの流れの例

- 生活ノートを通じた生徒とのやり取りをきっかけとして、計画委員と生活ノートにコメントを書いた生徒を集めて状況を確認します。



合唱コンクールに向け、みんなの気持ちはどうなんだろう。

アンケートをとることで、みんなの考えが分かると思います。



- アンケートを実施する場合には、アンケートの主旨をまとめたり、用紙を作成したりするなどの準備等を側面から支援します。

アンケートには「昨年よりもよい合唱にしたい」「合唱を頑張ることでまとまりのある学級にしたい」などの意見が多かったので、どうすれば最高の合唱にすることができるのか、みんなで話し合ってみたいです。



- 取り上げる議題について、全体で共通理解を図った後、話し合いに向けて提案理由や話し合うことを明確にするなどの準備等を側面から支援します。

◇「最高の合唱にするための作戦」について、学級活動シート等に事前に記入させるなどして、話し合いに一人一人が主体的に参加できるようにします。

<生活ノートのコメント例>

合唱コンクールに向け、もっと心一つにして真剣に取り組みたい。

本時の話し合い②③における指導のポイント

◇「まとまる」や「高め合う」など、「最高の合唱にする」という目標の実現につながるようなキーワードを提案理由の中に組み込み、話し合いのよりどころとなる視点として共通理解させ、焦点化した話し合いを展開できるようにします。

◇自分の考えと友達の意見の共通点や相違点を考えたり、出された意見を分類・整理したりして、各教科等で鍛えられた物事を捉える視点や考え方である「見方・考え方」を総合的に働かせ、多様な意見のよさを生かしてよりよい合意形成を目指すことができるようにします。

事後の活動④⑤における指導のポイント

◇事前から事後までの一連の活動を通して気付いたことや学んだことを振り返り用シートにまとめさせ、互いのよさや頑張りを認め合う相互評価を取り入れるなどして成果と課題について整理し、次の課題解決に生かせるようにします。

学級活動の指導をするに当たっては、日常生活や学習場面において自分らしさを発揮したり、生き方や将来に対する夢を膨らませ目的意識をもったりすることができる、心の居場所となるような学級づくりが基盤となります。

